

### 3-⑮ 指導体制の充実

#### 「外国語活動、外国語科」の指導の確実な実施と授業の充実に向けて

村上市立保内小学校 須貝 学

#### 1 研究の視点に関する実態

- ・完全実施に向けて、村上市では今年度、3・4年生は年間15時間、5・6年生が50時間の外国語を時数増で実施。また、1・2年生はモジュール学習の活用によって捻出した時数によって45分単位の学習を10時間実施。
- ・昨年度まで、ALTや外国語指導助手とのTTでは、お任せ授業の傾向にあったので、教職員の意識改革と授業改善を実施する必要がある。
- ・打合せ時間がとれないことや指導についての得手不得手が大きいこと、また1・2年生の指導計画や学習プラン等がないため、担任がそのプラン作りに負担を強いられる等、大きな負担となっていた。

#### 2 改善のための具体的な方策と取組内容

各学級担任が大きな負担を抱えることなくALTや外国語指導助手と連携して、外国語及び外国語活動を確実に実施できるように、指導体制と学習環境を整える。

##### (1) 全学年の指導計画の整備と教科書をもとにした学習プランの作成

- ・外国語活動時間割表を作成し、年間を見通したALTと指導助手とのTTを計画的に実施する。
- ・文科が提供している「年間指導計画」と「外国語レッスンプラン」をエクセルファイルに変換し、自校用に改善して授業に利用する。1・2年生用も「外国語活動レッスンプラン」年間10回分の指導案を作成して授業に利用する。

##### (2) ICTの活用による指導の充実

- ・テキスト教材「Let's Try!」と「We Can!」の教材ソフトを導入したタブレットを学年部に一台ずつ配当し、各教室の大型テレビにWi-Fiで接続して学習に活用する。

##### (3) 研修による全職員の指導力の向上

#### 3 取組の成果と残された課題

##### (1) 教育課程への位置付け

- ・外国語活動時間割表をもとに計画的に学習したことで、すべての学年で学習時間の確実な確保ができている。
- ・自校化した指導計画とレッスンプランをもとに授業を進めたことによって、学級担任のプラン作成の負担がなくなり、テキストに準じた学習が実施できている。
- ・1、2年生でも、レッスンプランをもとにTTで学習しているため、担任が学習計画をその都度作成する必要がなく、負担を少なく学習を行っている。

##### (2) ICT教材の整備による効果的な指導

- ・すべての学級担任が、準備の負担も少なくICTを効果的に活用している。

##### (3) 校内研修による授業研究の実施

- ・外国語担当教諭の提案授業によって、授業のイメージをもつことができた。
- ・教材の使い方やICT利用の効果などを共通に理解する機会となり、外国語及び外国語活動に対する教職員の意識向上を図ることができた。